

平成23年5月
研究倫理・監査室

独立行政法人科学技術振興機構 平成22年度 第2回契約監視委員会 議事要旨

開催日：平成23年5月18日（水）12：55～15：10

開催場所：JST東京本部 役員会議室

出席者：斎藤委員長及び委員3名（青山委員、内藤委員、柳沢委員）

- 当該委員会規則第6条第2項の規定による構成委員の2分の1以上（7名中4名）の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認。また、議事に先立ち事務局より本委員会は東日本大震災の影響で延期した平成23年3月15日開催予定の委員会における審議等であるため、平成22年度第2回契約監視委員会としたい旨説明し、委員の了承を得た。

議事内容

確認事項

1. 平成22年度第1回契約監視委員会 議事要旨の確認

事務局より前回委員会の議事要旨（案）の内容確認を求め、委員の了承を得た。なお、了承を得た本議事要旨をJSTのホームページに掲載する旨説明した。

報告事項

1. JSTの契約状況について

経理部契約調整課より①競争性のない随意契約の状況（年度推移、平成22年度における随意契約の特殊要因等）、②1者応札・応募の状況（年度推移、要因分析、改善方策等）及び③H22年度契約分及びH21年第4四半期分の自己点検結果・改善予定事項について報告した。

審議事項

1. 平成22年度締結契約の事後点検について

委員会では全件審査は困難であることから事前に各委員に全対象案件を提示し、そこから各委員の意見を踏まえ何件か抽出した上でご審議いただくことになる。審議案件の選定にあたって、競争性のない随意契約から2件程度、1者応札・応募から4件程度を抽出する方針で、JSTの主要調達案件である物品調達、役務、システム系からそれぞれ2件程度をカバーできるよう調整し、下記の計6件を選定したことを説明し了解を得た後、審議を行った。

なお、審議は各案件について検査項目の内容に則り契約担当部署説明のあと委員による質疑とした。委員より個々の案件について確認等はあったが特段の問題点等の指摘はなかった。ただし、

今後予定価格算定にあたっての更なる精査、また契約金額妥当性の更なるチェック等に努めるべきとの意見が付された。

- ①常設展示「情報科学技術と社会」に係る人物捕捉追跡システム (競争性のない随意契約)
- ②来館救護室における看護業務 (競争性のない随意契約)
- ③H22年度J-STORE公開特許情報等連携サービス提供 (1者応札・応募)
- ④イオンビーム加工・表面分析装置 (1者応札・応募)
- ⑤総合情報システム等の運用 (1者応札・応募)
- ⑥平成22年度文献データベース作成に関わる業務 (1者応札・応募)

連絡調整事項

1. 平成23年度の契約監視委員会の進め方について

平成23年度契約監視委員会の開催方針について事務局より以下のとおり提案し、了承された。

- ・平成23年度の委員会は2回(下期)の開催とする。
- ・第1回目は、平成23年度締結予定契約の事前点検とし、平成23年10月、11月公告分の案件から抽出し審議する。
- ・第2回目は、平成23年度締結契約の事後点検とする。

2. 契約監視委員会委員の見直しについて

事務局より各委員にはこれまで2年分の契約の点検を実施していただいたが、当該委員会規則では委員の任期は2年となっており、委員の見直し時期になっている。同規則では委員の再任を妨げないとなっていること、また委員の中に民間の購買関係者を含めるべきとの国からの要請もあることから、今後委員構成の見直しを行いたい旨説明した。